

保護者・関係の皆様

練馬区立仲町小学校

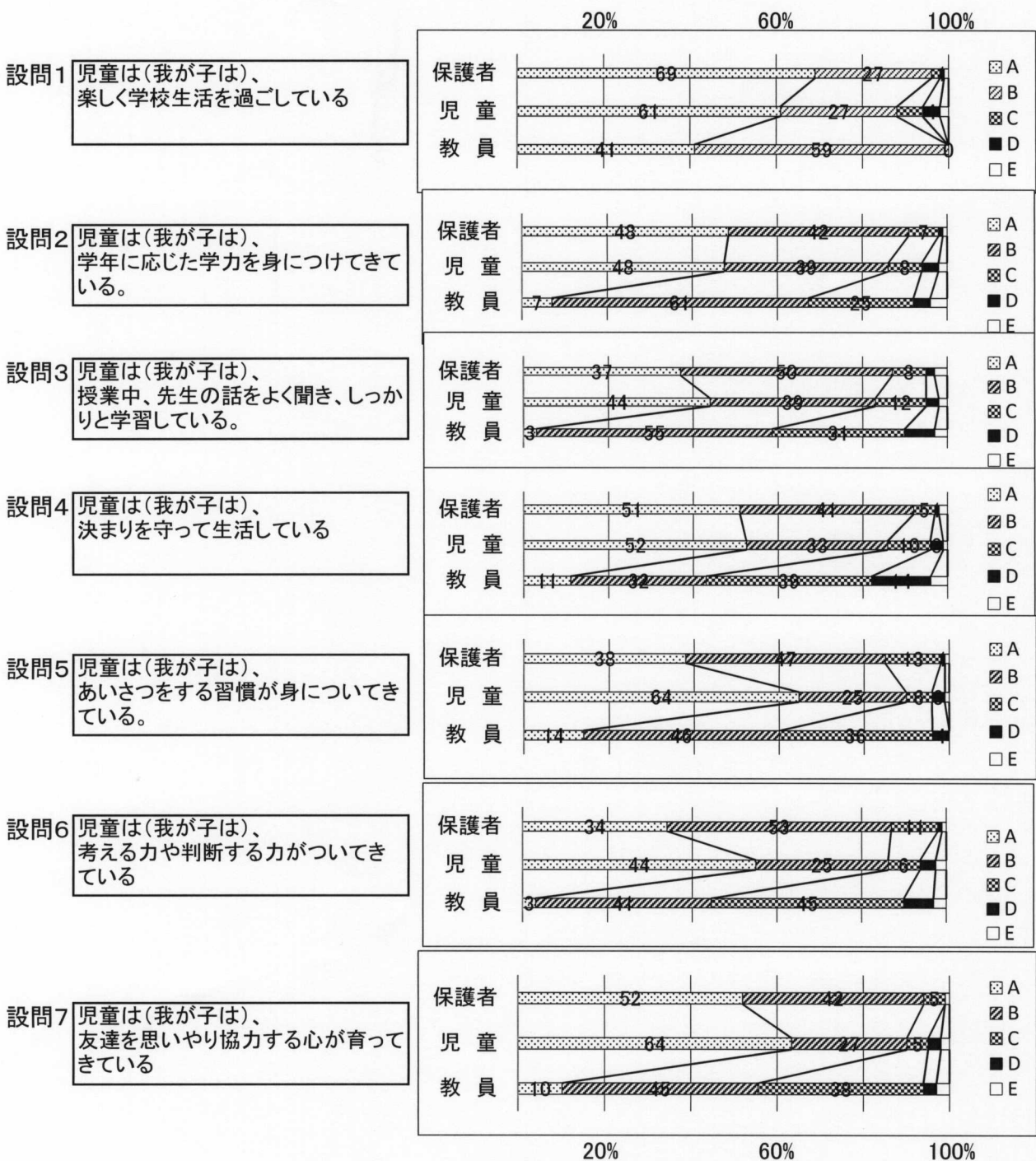
校長 澤井 英子

「仲町小の教育について」集計結果と学校関係者評価

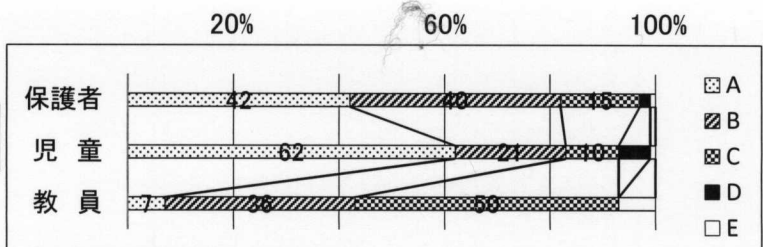
本校では、今年度の教育活動を振り返り、来年度の教育計画を立てようと考え、保護者の皆様にアンケートのご協力をお願いしたところ、大変貴重な多くの声を頂くことができました。回収率は81%で、昨年度よりも多くの回答をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。同様の項目で、児童と教員も回答しましたので、ここにお知らせいたします。また、集計結果をもとに学校評議員の方々にも、ご意見をいただきましたので、あわせてお知らせいたします。次年度の教育活動の改善充実に生かしていきたいと思っております。

これからも様々な面で、保護者・関係の皆様のお力添えが必要となりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

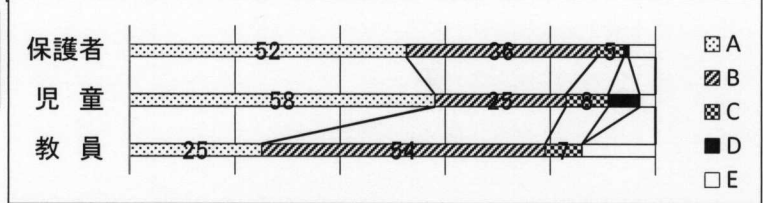
A 当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない E わからない



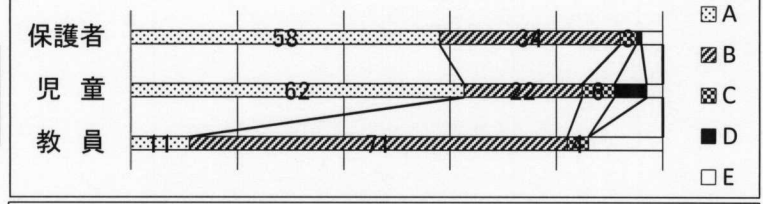
設問8 児童は(我が子は)、
進んで運動し、体力がついてきている



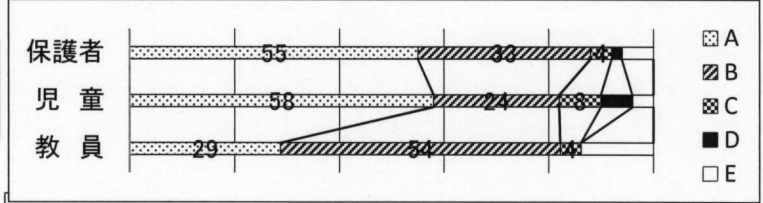
設問9 先生は、
子供たちの思いや願いに耳を傾け、
受け止めてくれる



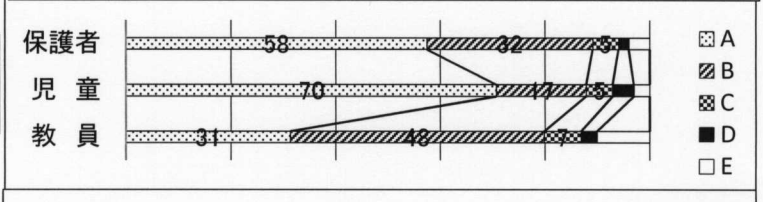
設問10 先生は、
勉強を分かりやすく教えている。



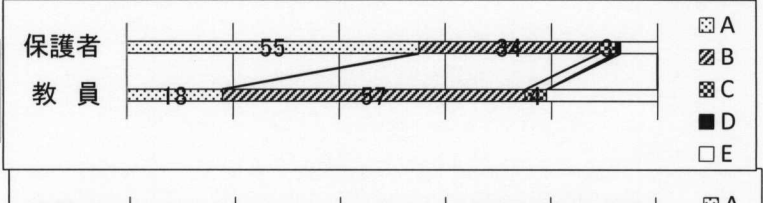
設問11 先生は、
子供たちのよさを引き出し、認め伸
ばすよう努力している



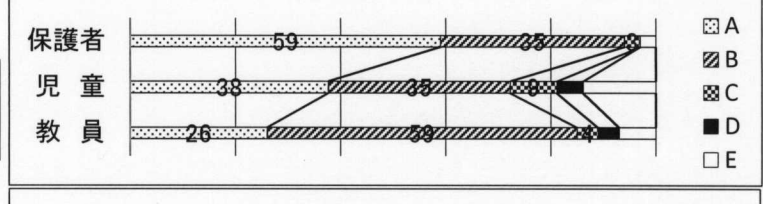
設問12 先生は、
子供の間違っただ行動に対して厳しく
指導している。



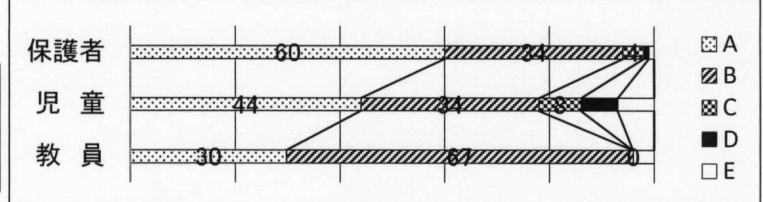
設問13 先生は、
保護者の思いや願いを受け止め、
相談に応じてくれる



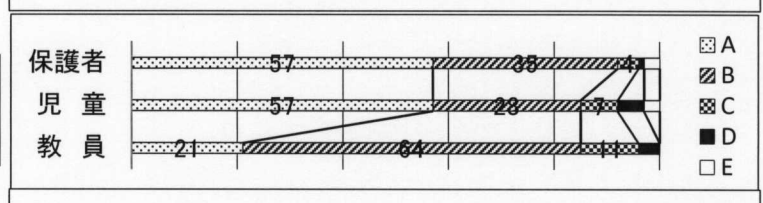
設問14 学校は、
保護者や地域と協力して子供たちを
育てようとしている



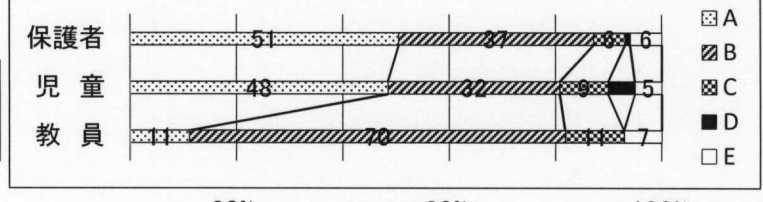
設問15 学校は、
各種の「たより」などで学校の様子
が分かるように伝えている



設問16 学校は、
安全で安心な学校づくりに努めてい
る



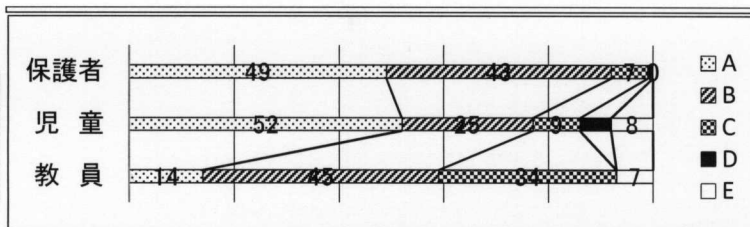
設問17 学校は、
人や地域・自然との関わりを豊かにする
ような特色ある教育活動を行っている



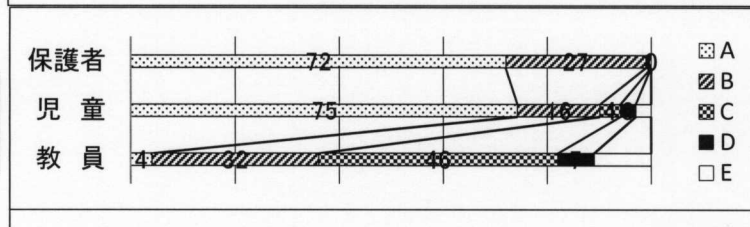
20% 60% 100%

20% 60% 100%

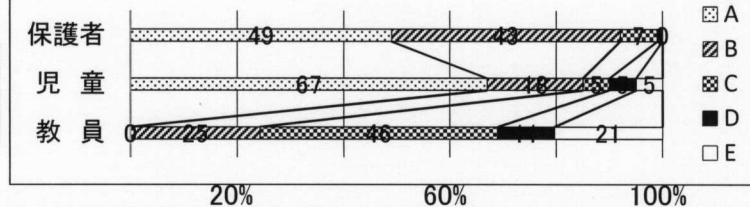
設問18 家庭は、学校や担任(専科)の教育方針を理解しようと努めている



設問19 家庭は、子供の間違った行動に対して厳しく指導している。



設問20 家庭は、学校の学習や生活の様子について、お子さんとよく話し合っている



◇共通してABが高い項目

①設問1「児童は、楽しく学校生活を過ごしている」は、保護者、児童、教員ともに昨年同様高い割合です。学校が楽しいと思ってくれることが学校としては、大変嬉しいことです。その反面、10%の児童が「楽しくない」と答えています。担任だけでなく専科や心のふれあい相談員・支援員等、学校体制で児童一人一人の日々の様子に目を向けながら解決していきたいと思ひます。

②設問10「先生は勉強を分かりやすく教えている」は、共通して高い割合です。今後も学年会等を利用して教材研究を深め、分かりやすく楽しい授業を行っていききたいと思ひます。また、仲町小学校は、東京都の言語能力向上推進校としての研究も進めています。来年度は、3年目になり発表会も予定しております。さまざまな教科の中で言語能力の向上に努めていききたいと思ひます。

③設問14「学校は、保護者や地域と協力して子供たちを育てようとしている」は、共通して高い割合でした。子供たちの成長には、学校、家庭、地域の連携が必要です。また、地域の方には学校の教育活動に多大なご協力をいただいております。今後ともよい連携を保ちながら教育活動を進めていききたいと思ひます。

④設問15「学校は、各種のたよりなどで学校の様子分かるように伝えている」も共通して高い割合でした。学校だよりや学年だより、ホームページなどの内容をさらに充実させ、仲町小学校での教育活動をお知らせしていきたいと思ひます。

⑤設問16「学校は、安全で安心な学校づくりに努めている」も共通して高い割合でした。今年度、57名の安全安心ボランティア保護者の皆さんの協力をいただきました。防犯の面でも有り難いことでした。職員も不審者侵入時の対応訓練を毎年実施し、緊急時に備える取組を行っております。今後とも安全で安心した学校づくりに努めていききたいと思ひます。

○変容が見られた項目

①設問5「児童は、あいさつをする習慣が身につけてきている」は、毎日、学校で子供たちに指導をしている教員の評価が、昨年度のAB43%からAB60%に変容しました。まだまだ十分ではありませんが、自分からあいさつをしたり、あいさつを返したりする子が増えてきているのは実感として感じているところです。今後も継続して指導を続けていきますが、ご家庭でもよろしくお願ひいたします。

◆共通してCDが高い項目

②設問6「児童は、考える力や判断する力がついてきている」は、評価が低くなっています。小学校では、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける学習指導を重視しています。そして、その身に付けた学力を活用して思考力、判断力、表現力を向上させていくこととなります。基礎的・基本的な学力の定着を図り、児童の考える力や判断する力を向上させる指導の工夫や改善を今後一層進めていきます。

☆気になる項目

①設問4「児童は、決まりを守って生活している」は、教員の評価が低くなっています。学校では「仲町スタンダード」を作成し、学習や生活の基礎となるルールの徹底を図っていますが、まだ十分ではありません。学習に必要なものを持ってきている児童もいます。廊下の歩行、放課後の地域での遊び方等にも課題があります。筆記用具等の約束事もありますので、ご家庭でも確認していただければと思ひます。今後とも指導を続けていききたいと思ひます。

②設問7「児童は、友だちを思いやり協力する心が育ってきている」は、教員の評価が去年より低くなりました。子供たちの生活の中で気になっているのは言葉です。「死ね」「消えろ」「うざい」「きもい」など人の心を傷つける言葉が日常化している児童もいます。道徳の時間を中心に全教育活動の中で人の立場に立った言動をとることが出来る児童の育成をしていききたいと思ひます。ご家庭でも、気になる言葉遣い等の指導をお願ひいたします。

自由記述欄より

自由記述欄にたくさんのご意見をいただきました。全部を掲載するのは難しいため全体に関わる主なご意見・ご感想・ご要望だけに限らせていただきました。

★は学校からの回答です。

【授業・学習面】

- 勉強でわからないところのある子を夏季補習教室だけでなく、もう少し行ってもらいたい。
★分からないことをそのままにしておくことは、その後の学習に影響があります。補習時間を確保していけるように生活時程の見直しや行事の精選をしていくとともに、楽しく、分かる授業を目指し、授業改善を進めていきたいと思ひます。

【生活面】

- 自転車に乗っての交通ルールが守られていないようで横に広がったり、スピードを出したりと危険だと感じています。
★区内でも自転車での交通事故が増えています。仲町小学校では3年生を対象とした自転車の乗り方教室を行い、自転車の安全な乗り方を指導しています。ご家庭でもお子様と一緒に出かけの際に、交通ルールや自転車の乗り方を指導していただければと思ひます。

【行事面】

- 仲町小学校は、学校公開の回数が多く、子供の学校生活を見ることができるので安心しています。
★今後も、学校でのお子様の様子を見ていただきながら、学校と家庭で連携して教育していきたいと思ひます。

【その他】

- メールでの不審者情報などが、とても有り難いです。その後、どうなったのかの情報も伝えてもらえると安心です。
★メールシステムについては、来年度から区で統一された「学校連絡メール」というシステムに変更になります。改めて登録していただくこととなりますので、詳細は別途お知らせいたします。システムが変更になりますが、今後とも必要な情報を迅速にお伝えできるようにしていきたいと思ひます。
- PTA活動が盛んで地域とのつながりが強く、地域の方々が子供たちの成長を見守ってくれていると感謝しています。
★仲町小学校は、PTAやたくさんの方々の皆様のお力で支えられています。本当に有り難いことです。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ◎ここにお載せしていないご意見も参考にし、仲町小をよりよい学校にしていきたいため、全教職員努力をしております。

◇学校評議員会での意見

出席者 佐藤茂様（ミニバスケットボール指導者）・満留三郎様（元PTA会長）
松下勝持様（町会役員・同窓会役員）・池田清忠様（PTA会長）
関和彦様（元PTA会長）・濱名貞美様（民生委員）・校長・副校長

○「学習」について

- ・学校公開で授業の様子を見たが、授業内容や方法が多岐にわたり、興味深かった。
- ・補習は時間の確保が難しいので、子供たち同士が教え合うことを通して、内容を理解させてはどうか。教え合うことで教える子もより理解を深めていく。

○「生活」について

- ・あいさつが、よくなってきたことは、とてもいいことである。あいさつについては、学校としての取り組みにも限界があるのではないか。最終的には、家庭でのしつけが大切である。まず、家庭の中で、あいさつをしっかりさせる習慣を定着させるようにしていくことが大事ではないか。また、地域の大人たちも声をかけていきたい。
- ・自転車でのルール・マナーが気になる。学校付近の坂道を止まらない児童が多く危険を感じる。また、スマートフォンをしながら乗っていたり、イヤホンを両耳につけ音楽を聴いたりしている児童もいる。今は、自転車も加害者になる時代である。改めて安全教育について考える必要がある。
- ・最近では、子供に注意をしていると不審者と間違えられることもある。地域の大人たちが子供たちと顔見知りになり、いろいろなことを言ってあげられる関係になるといい。

○「その他」

- ・防災教育の必要性を感じる。震災に備え、生きるすべを身につけさせる必要があるように思う。子供たちが経験することは、すべてが勉強である。学校や家庭・地域の中で様々な経験をさせる中で育ってほしい。

等、学校評議員の方々からも、書ききれないくらいのご意見をいただきました。あわせて、来年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。ありがとうございました。